

白岩銚子塚古墳(児玉郡神川町)

前方左手に白岩銚子塚古墳への入口があるという



左手に白い標柱らしきものが見えてきた/ここを更に進むと白岩神社があるという



「町指定史跡 白岩銚子塚古墳」とある



ここに入ってすぐ右手にあるらしい



この右手のブッシュの中にもNo.89古墳(白岩古墳群1号墳)があるらしい



さて、この道を進むとすぐに説明板らしきものが見えてくる



この右手のブッシュの中にNo.89古墳(白岩古墳群1号墳)があるというが、これでは調査は無理である



前方が白岩銚子塚古墳/南東から後円部とその左手奥の前方部方向を見る



白岩銚子塚古墳

平成三年十二月十六日 町指定史跡

白岩銚子塚古墳は、後円部の一部が削られているものの、比較的遺存状態の良好な前方後円墳である。

墳丘の規模は、現状で全長約四十六メートル、後円部径約二十八メートル、高さ約六・五メートル、前方部幅約二十九メートル、高さ約四・二メートルである。確認調査の結果から、周溝を含めた全長五十七メートル、後円部径約二十八メートルに復元できる。周溝の幅は、後円部で二・七メートル、前方部で八・二メートルである。墳丘裾部と周溝との間には、約二・五メートルの平坦部が設けられていた。

埋葬主体部は後円部に位置し、南方向に開口する横穴式石室であったと推定される。周溝からは円筒埴輪片、馬・器材などの形象埴輪片、須恵器壘片が出土した。



白岩銚子塚古墳全測図

この古墳は、墳形・出土遺物等から、六世紀代（約一四〇〇年前頃）に築造された、この地域の首長の墓と推定される。

平成四年三月

神川町教育委員会

南東から後円部とその左手奥の前方部方向を見る



それでは時計回りに墳丘を見てみよう



南から後円部墳丘を見る



南から「くびれ」部分(左側)を見る/右手が後円部であるが手前にへこみがあり、盗掘の名残りだという(この部分には石室の空洞らしき穴が散見される⇒下記の詳細写真参照)



前方部の墳丘法面/墳丘の裾には周溝が巡っており、墳丘裾部と周溝との間には平坦部が設けられていたという



振り返って前方部から後円部の墳丘法面を見る



前方部の後ろの法面を見る



西に立ち、前方部から後円部方向を見る



前方部から後円部方向に墳丘の法面を見る



右手前方が後円部





「くびれ」部分/左手が後円部



後円部の墳頂を見る



振り返って後円部から前方部方向へ墳丘の法面を見る



後円部の墳頂を見る



後円部の後ろの法面を見る



案内板の立つ位置に戻る



後円部の墳頂に登ってみる



後円部から前方部を見る



振り返って後円部の後ろを見る/奥の藪の中にNo.89古墳(白岩1号墳)があるはずだが



後円部墳頂から前方部右手を見る



後円部墳頂から前方部左手を見る/この法面のへこみは盗掘の名残り



上記の方向(南方向)の遠景



前方部から後円部方向を見る



そして左手を見る



右手を見る



振り返って前方部の後ろを見る



ところで、この木の廻りに葺石のような石が散見された





そして墳丘の上部(後円部の南面)を見上げるとへこみが見られた



そこにはこのように石室の内部につながっていると思われる空洞が散見された









横から全景を見る



さて、元の場所まで戻り、白岩銚子塚古墳の更に先にあるという白岩神社へ向かうこととする



白岩神社の付近(北西)に立ち、正面に白岩銚子塚古墳のあった方向を見る/左手が白岩神社(白岩神社については別稿を参照のこと)



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/kamikawa/siraiwa.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/57_kmkw/siraiwa2.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/57_kmkw/siraiwa3.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/57_kmkw/siraiwa4.html

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/57_kmkw/siraiwa5.html

